

学校名（ 出雲市立南中学校 ）

○取組の概要・・・（ ⑤ ）

始業時間を早め、給食準備や片付け、掃除の移動時間などを見直し、終礼終了時刻を25分早くした。

それにともない、部活動終了時刻も30分早くすることができた。そのため、放課後に余裕ができ、職員の退庁時間も以前と比較し早くなった。

○成果と課題（成果のみでも可）

- ・以前は、日没後生徒が下校する状況にあったが、ほとんどが日没前には下校することができるようになった。また、家庭生活にも余裕が生まれている。
- ・職員も早く退庁する意識が高くなり、退庁時間が早くなっている。
- ・放課後の時間が長くなったことで、勤務時間内で仕事を終わらせるようになってきている。
- ・生活時程的には忙しくなっているが、生徒は意識を変えて準備等を素早く行うようになり、現在順調に進んでいる。

○おすすめポイント

ちょっと時程的に忙しいですが、短縮できる時間を見つけ生活時程を前に詰める
と放課後余裕ができます。

学校名（ 隠岐の島町立西郷中学校 ）

○取組の概要・・・（ ⑤ ）

スクラム担任制の導入

本校では3年前からスクラム担任制を行っている。スクラム担任制とは、学級を複数の担任で受け持つ仕組みである。本校の場合、各学年2学級を3人の担任を置き、朝終礼、給食、道徳、学活等を交代で行っている。また、三者面談や学年部の仕事なども三人で分担しながら対応している。基本的には、学年部は三人の担任と一人の副担任で構成される。

今年でスクラム担任制3年目になり、少しずつ改善している。例えば、3年生は進路指導や最終学年ということもあり、2年目から単学級担任制になった。また、学園祭などの行事期間は、全学年単学級担任制にして生徒も教員も関係を深めながら、充実した時間を過ごしている。

○成果と課題（成果のみでも可）

学年部の業務を分担できることで時間的な余裕が生まれている。また、問題行動が起こった時などは、一人で抱え込まず、3人で話し合いながら対応できるので、気持ちの面でも負担が軽くなるように感じる。

担任3人の組み合わせは若手と中堅が配置されており、普段からOJTが実践され、若手教員も気軽に相談できるような体制が整っている。

○おすすめポイント

時間の余裕＋気持ちの余裕も生まれる。